

被災地での「夏休み理科実験教室」、「大槌町役場の移転支援」の実施について

住友化学は、東日本大震災の被災地支援の一環として、7月末から8月上旬にかけて被災地に社員ボランティアを派遣し、「夏休み理科実験教室」ならびに「大槌町役場の移転支援」を実施いたします。

住友化学は、東日本大震災が発生して以来、社員ボランティアの派遣のほか、社員食堂における被災地の食材使用や義援金付きメニューの販売、被災地応援物産展の開催など、さまざまな支援活動を継続してまいりました。

震災から1年以上が経過し、被災地が求める支援内容がハード・ソフト両面にわたって多様化する中で、住友化学は、そのニーズに応えながら支援活動を展開しております。今回は、夏休み中の小学生が化学の不思議に触れて楽しめるイベントや、行政庁舎の移転作業の支援を行うこととしておりますが、今後も、当社が事業を通じて培ってきた知見や先進技術を生かした農業の復興支援など、被災者の生活再建や被災地の一日も早い復興に向けたさまざまな支援活動を継続してまいります。

<今回の被災地支援活動の概要>

1. 「夏休み理科実験教室」

概要：夏休みを利用した課外授業として、3年生以上の小学生を対象に、当社製品を活用した化学の不思議や楽しさを体験できる理科実験教室を開催。

期間：7月30日（月）～8月2日（木）（予定）

場所：岩手県釜石市内の公民館や仮設住宅の集会場など、計7ヶ所。

実験内容：参加者が調合した染料でハンカチを染める「世界に一つだけのハンカチ」の作成、液晶部材である偏光板を使った「ふしぎなステンドグラス」の作成。

2. 「大槌町役場の移転支援」

概要：岩手県大槌町役場が仮設庁舎から新庁舎に移転する際の作業支援等ならびに不足する事務機器、オフィス用品等の寄贈。

期間：8月4日（土）～8月7日（火）（予定）

場所：大槌町役場（岩手県上閉伊郡大槌町上町1-3）

以上